

## 雲ノ平と鷲羽岳、水晶岳

1. 目的地 : 雲ノ平(くものたいら 2500m)、鷲羽岳(わしばだけ 2924m)、  
水晶岳(すいしょうだけ 2986m) 岐阜県/長野県/富山県(北アルプス)
2. 日程 : 平成20年8月7日(木)~11日(月)、
3. 天候 : 9日昼間一時雹(ヒョウ)と雷雨、それ以外は快晴
4. 参加者 : 男性5名、女性1名 計6名
5. 参加費 : 41,100円(高速バス往復、タクシー、路線バス、山小屋宿泊、温泉入浴等)
6. 経路 :

往路 TXつくば駅=秋葉原=東京竹橋=(夜行バス:毎日アルペン号)=新穂高温泉  
7日20:42発 22:30 8日6:10着

復路 高瀬ダム=大町温泉郷「薬師の湯」(入浴)=信濃大町=(さわやか信州号)=新宿  
11日11:20発 11:50~15:00 16:15 21:00着

### 7. コースタイム:

8日 新穂高温泉~ワサビ平小屋~秩父沢~シシウドガ原~鏡平山荘~弓折岳鞍部~双六小屋(泊)  
6:45 8:05 9:20 12:30 15:20

9日 双六小屋~双六岳~丸山~三俣蓮華岳~三俣山荘~鷲羽岳~ワリモ北分岐~祖父岳~雲ノ平山荘(泊)  
5:35 6:45 9:30 10:55~11:30 12:50 15:25

10日 雲ノ平山荘~祖父岳~水晶小屋~水晶岳~水晶小屋~東沢乗越~野口五郎岳~野口五郎小屋(泊)  
5:45 7:15 8:45 9:25 10:05 10:50~11:20 13:15 13:50

11日 野口五郎小屋~三ツ岳~烏帽子小屋~ブナ立尾根~高瀬ダム  
5:30 8:00 11:15

8. レベル: 標高差 8日上り約1460m、11日下り約1600m、その他は不明  
各日の行動時間は上記のとおり 登山上級(D)

9. 山行状況 : 東京を出た夜行バスは8日早朝に上高地を經由して新穂高温泉に到着。バス停広場でトイレと朝食を済ませ、左俣沿いの林道を歩き始める。ワサビ平小屋は冷たい水が流れており、水槽には売り物のりんご、オレンジ、トマト、スイカ等が浮かべてある。登山道に入り、雪解けの冷たい水が流れる秩父沢を越えて行く。最後の水場なので十分に補給する。鏡平手前の雪渓では、雪をカップで掬いコンデンスミルクを掛けたカキ氷と、氷水に浮かべた冷やしトマトが生き返るほど美味かった。このご馳走は翌日も味わうことが出来た。鏡平の池で評判の槍ヶ岳の姿を眺めた後、山荘の前を通過して笠ヶ岳からの稜線に出ると、お花畑を愛でながら、やがて双六小屋に着く。小屋入口に「今夜は込み合っているので布団1枚に2人です」と張り紙がしてあった。

9日も快晴、北アルプスの目ばしい山は総て見えている。特に、黒部五郎岳や一昨年登った薬師岳が谷を挟んで目の前に聳えている。鷲羽岳山頂で昼食を終えかけた11時30分頃、突然雹が降ってきた。慌てて下山を開始したが雹の勢いは激しくなり、やがて雷雨へと変わっていった。稜線上のコースなので雷を避けられそうな所は無い。稜線からちょっと外れた岩壁に張り付くようにして、雨に打たれながら雷が遠ざかるのを待った。そして黒部川源流地点を左手に見下ろしながら、やっと憧れの雲ノ平へ。遠くから見ると平に見える溶岩台地の草原は、中に入ってみると岩と池塘に囲まれて意外と起伏に富んでいる。小屋はその広い草原の中央部にぽつんと建っていた。

雲ノ平山荘も野口五郎小屋も水場が無いので天水頼り。水は宿泊者も有料で1リットル200円。2日目の鏡平を過ぎれば、最終日のブナ立尾根までは総て稜線歩きなので、小屋が雪渓以外では水の補給は難しい。水晶岳山頂は大きな岩の重なり、野口五郎岳は花崗岩の砂に覆われた白くなだらかな山頂。展望の素晴らしさはどちらも文句なしの1級品。この長大な稜線歩きは、岩とハイマツと雪渓に彩られた累々とした山並みの迫力と、次々に現れる高山植物の花々に感動の連続であった。

鷲羽岳山頂



越えて来た双六岳

鷲羽岳の登り



雲ノ平スイス庭園



雲ノ平アルプス庭園（後方は水晶岳）

